

リレーカタログ(DS31-00702-2)正誤表(1/2)

2009年11月17日現在

富士通コンポーネント株式会社

★印は今回追加した箇所です。

★**Webカタログ追加情報** (詳細はWebをご覧ください)

- ★ JSL パワーリレー 1極 8A ラッチングシリーズを追加しました。
- ★ FTR-F1L パワーリレー 2極 8A ラッチングシリーズを追加しました。

カタログ修正情報

A 2極 1～2A(信号切換用) シリーズ

ページ	変更項目	[誤]	[正]
p.62	■オーダー形格指定方法	(キ)コイル感度 HA : 標準形	(キ)コイル感度 HA : 標準形 無記号 : 70%感動形

NY 1極 5A(中負荷制御用) シリーズ

ページ	変更項目	[誤]	[正]
p.169	■特性	接点定格 3A 30VDC / 3A 250VAC	接点定格 5A 30VDC / 5A 250VAC

FTR-F2 1極 5A シリーズ

ページ	変更項目	[誤]	[正]
p.196	■オーダー形格指定方法	(ウ)コイル定格消費電力 A:密封形(530mW)	A:密封形(530mW)を削除
p.197	●品種	A:密封形(530mW)の全形格	A:密封形(530mW)の全形格(FTR-F2AA***T)を削除
p.197	●品種	オーダー形格 FTR-F2AL048T コイル定格電圧 48	「FTR-F2AL048T」を削除 「48」を削除
p.199	■特性	密封形 F2AA()T の全項目	密封形 F2AA()T の全項目を削除

FTR-F2P 1極 インラッシュ120A シリーズ

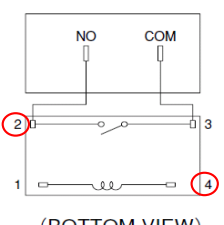
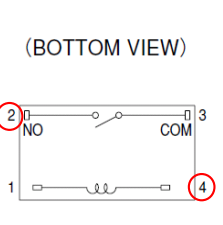
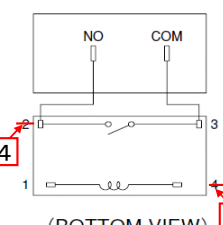
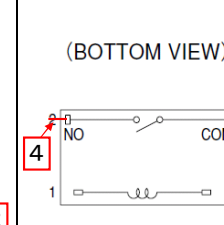
ページ	変更項目	[誤]	[正]
p.203	■コイルデータ 最大印加電圧値	8.5	12.5
		10.2	15.0
		15.3	22.5
		20.4	30.0
		30.6	45.0
		40.8	60.0

FTR-H2 1極 10A シリーズ

ページ	変更項目	[誤]	[正]
p.206	■オーダー形格指定方法	(ウ)コイル定格消費電力 A:密封形(530mW)	A:密封形(530mW)を削除
p.207	●品種	A:密封形(530mW)の全形格	A:密封形(530mW)の全形格(FTR-H2AA***T)を削除
p.208	■特性	密封形 H2AA()T の全項目	密封形 F2AA()T の全項目を削除
p.208	■絶縁 絶縁抵抗 特性値	1,000Ω以上	1,000 MΩ 以上
p.210	■参考データ 感動・開放電圧の分布グラフ	試料形格:FTR-H2AA012T	試料形格:FTR-H2 AK 012T

リレーカタログ(DS31-00702-2)正誤表(2/2)

FTR-K3 1極 20A (重負荷制御用)シリーズ

ページ	変更項目	〔誤〕		〔正〕	
p.330	●端子配列図・内部結線図	<p>FTR-K3JB形 (TOP VIEW)</p>  <p>(BOTTOM VIEW)</p>	<p>FTR-K3AB形 (BOTTOM VIEW)</p> 	<p>FTR-K3JB形 (TOP VIEW)</p>  <p>(BOTTOM VIEW)</p>	<p>FTR-K3AB形 (BOTTOM VIEW)</p> 

技術解説

ページ	変更項目	〔誤〕	〔正〕
p.515	2.2.8.2項 手はんだ付け工程における注意事項	3) コテ先温度は、 <u>280~300°C</u> が適当で、...	3) コテ先温度は、 350°C~360°C が適当で、...
p.516	2.2.8.3項 自動はんだ付け工程における注意事項 図2.26 自動はんだ付け工程図	3. 予備加熱の温度 <u>100°C以下</u> 6. 洗浄	3. 予備加熱の温度 120°C以下 6. (洗浄) 注: 活性化ロジン系フラックスを使用した場合にはこの工程が必要となります。2.2.8.4項を参照ください。
p.516	(3)予備加熱	2)予備加熱温度は100°C以下および予備加熱時間60秒以内となるように設定してください。	2)予備加熱温度は 120°C以下 および予備加熱時間 90秒以下 となるように設定してください。
	(4)はんだディップ	4)はんだ槽の温度は250°C±5°Cが適当です。	4)はんだ槽の温度は 255°C±5°C が適当です。